

事業番号	- 2	事業名	堺市私立幼稚園幼児補助金			
所 管	子ども青少年	局	保育施策推進室		課	
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保一元化の際には事業内容の変更が必要だが、今はこのままで良い。 ・ 国の（子ども関係の）制度の改革後に、これまでを総括したうえで再検討すべき。 ・ 当面は現行どおりとし、国の就園奨励費補助金だけで保育料等が支払える世帯への対応を検討してはどうか。 ・ 3歳児の就園率が高い実態から、補助対象を3歳児まで拡充する必要がある。 ・ こども手当や就園奨励費補助金などと支援制度を一本化すべき、対象者を見直して幼児教育の受入環境づくり（公立幼稚園の柔軟な運営、3年保育の導入など）を図ることも必要ではないか、高校の奨学金と奨励費補助金で対象者の所得要件に差があるのは市として教育支援の方針が一本化されていないのではないか。 						
【評価区分】 「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施(現行どおり)					7	3
市で実施(強化・拡充)					1	1
主な具体的強化策	・ 年収に応じた給付を行い、差額を高校奨学金に使用してはどうか。					
市で実施(要改善)					6	1
事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める				(0)	(0)
	市民との協働を推進する				(0)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する				(1)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す				(2)	(0)
	他の事業との統合・再編を検討する				(0)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）				(3)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
主な具体的改善策	・ 全体的には子どもが幼稚園に行けるようにという補助であって、非常に良い制度だと思うが、低所得者の方で苦しんでいる方はたくさんおられると思うので、その配慮をもう少し充実できればよい制度となるのでは。					
実施主体の見直し					1	0
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					2	0
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）				(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない				(2)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）				(0)	(0)
	効果がない（低い）				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。